



No.1088

9月号

2014

SEPTEMBER

丘の大地

JAびえい・広報誌



健全種子供給の使命を担い・・・

ー 8/22 豆類採種圃場審査から ー

- JA改革に組織討議2
- 農業まつりビックに4
- 情報カン10
- JAほっとLINE12

JAグループ北海道改革プラン

宮農と暮らしに直結 するJAのあり方に あなたの意見が!!

先に示された「農協改革」では、今後5年間で集中的に農協組織が一体となって自己改革を進める事としています。JAグループは限られた期間ではありますが検討・議論を進め、具体的な検討の手順に入る内容です。

組合員みなさんの意見は勿論、JA段階へと意見を集約（組織討議）する作業が始められます。

北海道農業は、たゆまない先人の努力で構造改善を進め、経営規模ではEU並みを実現しました。しかし、農業者、農

村人口の減少により地域そのものの存続さえ議論する事態にも陥りました。多様化する環境の変化に組織・事業のあり方について、早急に方針を打ち出すことが求められています。

これからJAグループ北海道は、これまでの事業を再評価し、改めて組織の主役である組合員各位の幅広い意見を頂きながら、「農業、農協改革は自らの意思」で策定することをめざしております。

この組合員組織討議資料は改革プランの「たたき台」として未来方向を決める指針として捉えて頂き、積極的なご提案をお寄せください。

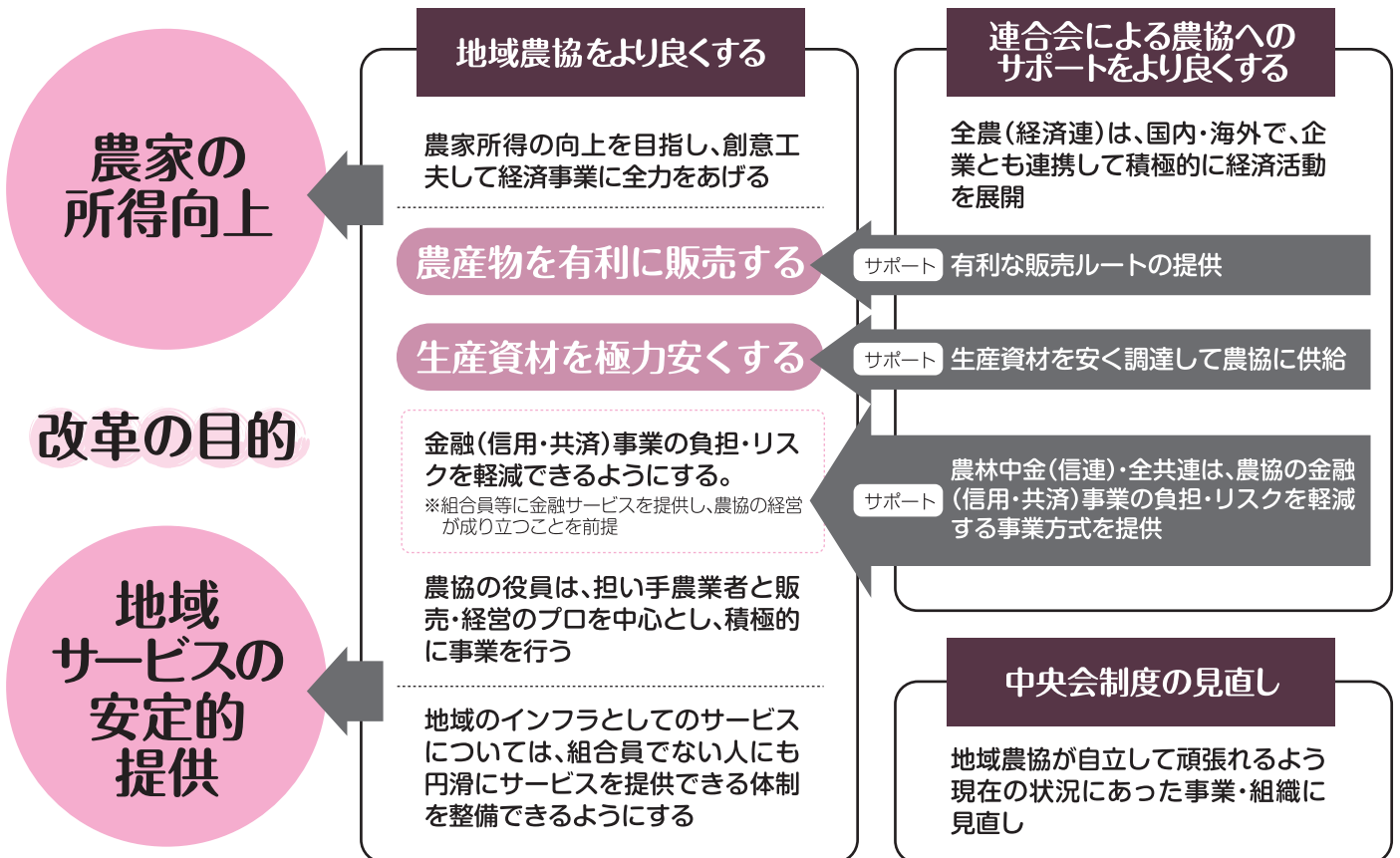
ご意見をお聞かせ下さい

改革プランは組織の主役である組合員みなさんの参加型意見集約です。内容をそれぞれご覧いただき、改革プラン（たたき台）／26・27Pで直接意見をお寄せください。意見募集期間は9月12日（金）まで、JAグループ北海道改革プラン会議宛です。Eメール・FAXどちらでも結構です。なお、改革プラン冊子は宮農部担当者が直接お届けします。



農協改革の方向

与党作成資料



焦点 FOCUS

気を付けて!農機具盗難被害 依然高い水準で発生

農機具の被害が全国的に多発していることをご存知でしょうか。農機具共済を実施する39都道府県のNOSA I 団体を対象にした農機具盗難の調査結果が報告されました。

平成25年の被害発生報告は241台（支払共済6億9千万円）で、平成24年の263台（支払共済5億9千万円）と比較すると、台数はやや減少しているものの、支払共済の金額は増加しています。平成20年から5年間のまとめでは、倉庫などに格納中の盗難が6割を占めており、格納中であっても、施錠・エンジンキーの管理など、徹底した対策が必要です。

平成25年の盗難台数を見ると、府県で多発し関東地区の被害が突出していますが、機種別の盗難台数は、トラクターが509台と最も多く、コンバインが18台、その他（トラクターアタッチメント）が268台となっています。

また、盗難発生時の保管状況は、倉庫などでの格納中が457台で、圃場での盗難163台を大きく上回っています。格納中の保管盗難では施錠していないケースが270台と多いものの、施錠した格納庫からも110台もの被害が浮き彫りとなっています。圃場からの被害はエンジンキーを抜いていたケースが多く、それでも被害に遭遇しています。

被害防止には二重三重の対策が必要ですが、警報機やハンドルロック、センサーライトなどの市販の防犯用品の使用を勧めます。加えて保管場所の前に軽トラックなどを置いて持ち出しにくい方策を講じるのも効果的だとしています。これからは夕暮れが早く、被害の発生しやすい時期でもあるため、地域ぐるみでの注意が必要です。

盗難発生時の場所や施錠の有無（H21～H25年度）

格納中の盗難 457

施錠あり 110 / なし 270 / 不明 77

圃場での盗難 163

エンジンキーあり 9 / なし 135 / 不明 19

その他 177



全道各地から生産者が
参集した平成26年度の
「全道食用ゆり根生産者大会」

美瑛でゆり根生産者大会

高収益作物のリース格のひとつとして地域農業振興計画でも作付振興をめざす「ゆり根」は、高い生産技術を要し、その技術力が所得に直結する作物として主産地を形成してきました。

全道のゆり根生産者や、道内外から「ゆり根卸売会社」関係者が堂に会し、8月21日、22日、平成26年度食用ゆり根全道生産者大会並びに消流懇談会が美瑛町で行われました。

大会は産地や消費地情勢、商品づくり講習会や、美瑛町内生産者宅の圃場視察など、多彩な内容で進められました。大会に先立ち、開催地J Aの大西組合長は、歓迎の言葉や美瑛町のゆり根生産に向けた生産者努力、良質品の安定供給を基本としたJ Aの対応などについて述べました。

平成25年産のゆり根販売経過に関連し、全道の販売対象面積は、72.5％で、前年をやや下回る作付となりました。全道的には早ばつや、猛暑の影響を受け「アノ」症の発生や球肥大の不足が懸念される地区が見られたことが報告されました。続いて道内向け年内出荷数量については、当初17.8千ケースを見込んでいたものの、計画比98％に留まったとしています。

平成25年産の平均単価は964円/kgで、前年比10.5％余りの販売結果が報告されました。

また、商品づくり講習会では、産地の取り組みとして、当J Aの百合根生産部会の佐渡志郎部会長が、生産部会の取り組みを発表し、美瑛町生産者のゆり根サンプル検査による品質確認や部会独自の作況調査などが報告されました。美瑛町の販売面積は36ヘクタール、生産者戸数は17戸で進められています。



美沢希望の
藤原哲さん宅のゆり根圃場
での現地研修会



美瑛の取り組みを報告する
佐渡志郎部会長

食用ゆり根のトップ生産者

2014 農業まつり

どかんと

食と農を彩夏の主役

美瑛の夏に季節的な区切りをつけ、食と農をまつりの主役にした2014どかんと農業まつりが8月23日、美瑛駅前の特設会場で行われました。

この日は全国的に降雨災害が伝えられた雨予報で、大会関係者をヤキモキさせたものの、開会式直後の雨から天候が回復し、結果的には絶好のまつり日和となりました。

農業まつり祭事は、地区対抗選手権や、公開ラジオの「日高晤郎ショー」、カニの早食い選手権、もちまきなど、多彩な催しで進められました。



主催者代表あいさつ



美瑛の美しい大地が収穫期を迎えた。
米も4年連続の豊作です。手応えは
十分に美味しい米を自信を持って
届けられます。
— 大西農業まつり実行委員長



丘のまち“美瑛”の美味しい農畜産物
で1日おまつりを楽しんでください。
— 浜田フェスティバル実行委員長

逸品



堪能



舞宴





地区対抗で力自慢 運俵リレーに13チームが競う

地区の力自慢が俵を肩に、健脚を競う“俵担ぎリレー”が地域の声援を受けて行われました。出場チームは13チームで、タイムを競いました。今年のベストタイムを出したのは「北台チーム」でした。当日は土砂降りの雨のあとのレースで、時にはタイミングを外して俵を落としたり、滑って転んだりで、笑いを誘う選手権となりました。選手のみなさん、ご苦労様でした。



ハンフアクション リポート ハンフアクション作家 河添恵子

6

「超格差社会」の中国

自分達の環境を良くすることに無頓着な中国人達ですが、その環境を良くするために日本は1兆円以上のお金を提供しています。それなのになぜ、中国の空気はあれほど悪いのでしょうか。

ODAは1兆円のお金を何に使ったのでしょうか。一つの例として、脱硫装置を与え、技術とモノを中国企業に提供したことがあります。これを使って汚いイオウ分を取るのです。ところがその装置つけたとしても企業は稼働させないのです。

ランニングコストがかかってしまうという事で、取りはずして転売する訳です。しかも日本の装置であるにもかかわらず、特許を申請して自分のものだと言っている状況です。

何よりも言いたいことは、中国は空を青くするにも、グレーにするにも意のままだということなのです。

それを日本人は気づかなくてはいけないと思うのです。2008年の北京オリンピックの数ヶ月間だけは北京の空が青

かったのです。

今の状態が出来た理由は2つあります。ひとつは、どう言っても直らない、要するにモグラたたきのような状態と、もうひとつはネガティブキャンペーンです。

中国人は「中国の汚い空気は日本へ行くんでしょ。だから日本にお金を出してくれ」と言うのです。中国では20年程前に政治家の鄧小平氏が「中国人が貧乏のままならば、舟に乗って何千万人も移民してしまう。だから金持ちにしてくれ」と言いました。

中国は貧乏が売りなものですから貧乏・貧乏とネガティブキャンペーンをしてお金をもらっていたのです。

次に鄧小平氏は「中国は世界の工場だ」と言いました。つまり13億人の人口を背景にした市場とも言ったのです。しかし、何が13億人でしょうか。今、中国にはお金持ちとはほとんどいません。

日本はそれでも労賃が安いからと中国に進出したと言っておりますが13億人の市場なんて全くありません。今あるのは「超格差」です。1兆円も持っている人もいれば1円も持っていない人もいます。そういう状況なのです。

ですから環境はメチャクチャですし、全てがメチャクチャです。ネガティブキャンペーンを強引に打ち出して、環境分野の技術やお金を日本におねだりしているのが実態なのです。

脱中国をしている日本の流れですが、最も脱中国をしているのは中国共産党です。もう中国では「メイドインチャイナ」は売れないし、世界から嫌われている事を中国自身が良く知っています。ですから持参金を持って違う国に嫁ぐ訳です。

持参金と言う形でアメリカに嫁ぐ訳で

すが、最終的にはメイドインチャイナで無くなる事が中国のミッションです。中国の本音は、メイドインジャパンにしたいという事です。日本製の製品は信頼性も高く、何でも良く売れる事は中国人達が一番よく知っています。

先日、沖縄へ取材に行った時の話ですが、沖縄は租税回避地のようなところがあった、最終的なアッセンブリー、要するに工場製品をそこで組立てているとメイドインジャパンになる訳ですが、それと同じ事をベトナムあたりで行い日本製にしようとしています。

「脱中国」を進める中国 チャイナリスク大きい 製品が日本から

また、日本のエリアではないのですが、沖縄付近のあるところで、日本人や中国人が最後の総仕上げをすることで、日本メーカー製に似せてベトナムに出しているのです。ベトナムの人達は日本のものだと思っただけで、実際、ほとんどの工程を中国で行い、最後の工程の一部だけを沖縄付近で行い日本製に「化け」させるのです。

ですから彼らが今、中国で一番望んでいるのは、「脱中国」であると言う事です。

それと海洋強国を主張していますが、中国は大陸国家にもかかわらず、外に向けて利権を求めているのです。海、空など要するに中国の政府は国内に全く興味を持っていません。外に出る事を考えています。その外のひとつが日本です。中国の政治家である習近平氏がオバマ大統領に

会った時に、TPPの話以外にもうひとつ違う事を言っています。「太平洋はとても広い。お互いに半分ずつ治める事を考え、太平洋の西側は中国のもの、東側はアメリカのものにしよう」と言うために、習近平はアメリカに渡った訳です。

これは新しい時代に入っていると言っていると思います。北海道の皆さんは他国からの脅威なく暮らして来た訳ですが、世の中は大きく変わっています。

その大きく変わっていく波に呑み込まれないようにしなければいけないのです。TPPもそうですが、TPPに勝る法律をつくる事が大切です。

道や市町村単位で自分達の地域や資源を守るため「湯布院」のような景観条例を作って守る事が重要です。

ですけれども「湯布院」が土地を買われてしまった事は事実です。買い戻す事はもう出来ません。転売するにしても中国人達は中国人に手渡す事になります。日本人の人達の手にはもう戻って来ないのです。

ですからいかに良い景観があっても、その横からとんでもない事が起きてしまう可能性は十分あります。

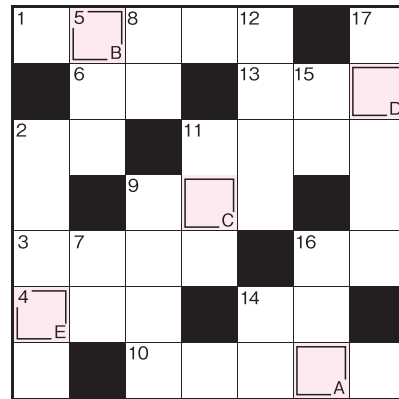
町や村単位で、変えてはいけなものの「条例」を自らの手でつくるべきです。そうすれば、ある程度のもを防ぐ事が出来ます。

日本はこのままTPPに参加しても5年〜10年は劇的な変化はしないと思います。しかし、やがては日本の農業、地域産業は「トコトン」潰されてしまうと思います。ですから、町道は勿論、国の単位でそのあり方を考えていかなければならないのです。(終わり)

頭の体操

クロスワードパズル

二重マスの文字をA→Eの順に並べ
てできる言葉は何でしょうか？



正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券（全農）をプレゼントします。

【応募方法】

官製ハガキ、FAXまたはEメールに①クイズの答え②今月の良かった内容③「丘の大地」に対するご意見・ご感想、その他おたよりなど④郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号

【応募先】

〒071-0298

上川郡美瑛町中町2丁目6-32

JAびえい「丘の大地」クイズ係

●FAX 0166-92-2977

●Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp

【締め切り・発表】

毎月20日(当日消印有効)

当選者は次号でお知らせします。

※応募の際にご記入いただいた個人情報、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見ご感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。

ヨコのカギ

① 1964年、10月に開催された
——五輪

② 留守——寝ずの——

③ レンコンの生産量が日本一の県

④ 毛染めをすると目立たなくな
ります

⑥ フグやきのこが持っていることも

⑨ おでこのこと

⑩ 見かけたら願い事を唱えると
良いとか

⑪ 歌舞伎の舞台装置 観客席の
中を通っています

⑬ AMとFM、どちらを聞こうか
な

⑭ プレンプレンと飛び回ります

⑯ 伯父さんや伯母さんから見た
僕のこと

タテのカギ

② ジャガイモの別名

⑤ 香川県とゆかりの深い麵

⑦ 美しくてとげのある花

⑧ コスモスもアザミもこの花の仲間

⑨ この文章には10文字使われてい
ます

⑪ パタパタと動かす清掃道具

⑫ 恋愛運・金運、仕事運……何を
見てもらおうかな

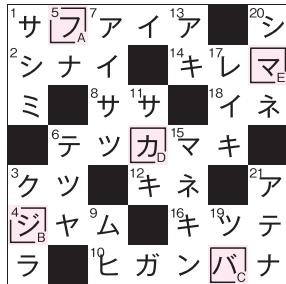
⑭ 洗濯がはかじる天気

⑮ 派手ではないのです

⑯ ミレー作の名画『——拾い』
⑰ 聞くと見るでは——だね

こたえ・当選者

☆先月号のこたえは
『フジバカマ』でした



☆当選者は

山田 仁美さん
守 よしさん
相沢 福治さん
道藤 信代さん
丹野 信子さん

以上の5名です。
おめでとーございます。

9月のあなたの運勢

監修/モナ・カサンドラ

おひつじ座 (3/21~4/19)

【全体運】やたらと神経質になりやすいよう。「石橋をたたいて……」壊してしまう傾向があります。開き直りの気持ちが必要に

【健康運】運動不足になりがち。朝の体操に挑戦を
【幸運を呼ぶ食べ物】シメジ

おうし座 (4/20~5/20)

【全体運】前向きになれそう。レジャーやイベントなどのお誘いを受けたら、気軽に応じて。クリエイティブな活動も幸運

【健康運】過激なダイエットは厳禁。自然体が一番
【幸運を呼ぶ食べ物】ブドウ

ふたご座 (5/21~6/21)

【全体運】感情コントロールが難しい月。一時的な怒りに身を任せ、暴言を吐かないように。鏡を磨くと開運効果がきめん

【健康運】ストレスを感じそう。胃腸のケアが大切
【幸運を呼ぶ食べ物】サンマ

かに座 (6/22~7/22)

【全体運】新しいことに興味津々。やってみたいことがあったら、まずは情報収集を。体験教室を受けるなど、お試しも吉

【健康運】快適に過ごせます。スポーツにトライを
【幸運を呼ぶ食べ物】マイタケ

しし座 (7/23~8/22)

【全体運】リラックス気分になります。やるべき作業を済ませたら、趣味や楽しみに集中を。グルメを満喫するのもグッド

【健康運】ちょっとしたけがに気を付けて。慎重に
【幸運を呼ぶ食べ物】シソ

おとめ座 (8/23~9/22)

【全体運】積極性がものをいう時期。気になるなら、やってみて。過去の失敗にリベンジ可能です。にぎやかな場所にツキも

【健康運】軽いスポーツや家事で体を動かすと◎
【幸運を呼ぶ食べ物】サケ

てんびん座 (9/23~10/23)

【全体運】思いやりを示すことで、人間関係は好転するはず。おわびの言葉も素直に伝えて。気分転換には入浴がおすすめ

【健康運】喉のケアが大事。常にうがいの励行を
【幸運を呼ぶ食べ物】カボチャ

さそり座 (10/24~11/22)

【全体運】対人運が上昇中。目標や夢が一致する仲間たちとの交流が良い刺激に。親睦会やオフ会などへの参加も大賛成!

【健康運】慢性疲労を感じるかも。休息を心掛けて
【幸運を呼ぶ食べ物】サトイモ

いて座 (11/23~12/21)

【全体運】意固地になりがち。耳に痛い意見でも謙虚に耳を傾けることで、好運の兆し。聞き上手を目指しよう

【健康運】食生活が乱れる暗示。肌荒れの心配あり
【幸運を呼ぶ食べ物】梨

やぎ座 (12/22~1/19)

【全体運】アクティブモード!思い切って行動することで運を引き寄せられそう。「攻めの姿勢」をモットーに動いて

【健康運】血行促進を促すと吉。ストレッチが有効
【幸運を呼ぶ食べ物】イクラ

みずがめ座 (1/20~2/18)

【全体運】ささいなことでクヨクヨする気配。思い悩むとますます気力ダウンへ。小さな失敗など笑い飛ばすぐらいが正解

【健康運】気楽さが体の抵抗力を高めてくれそう
【幸運を呼ぶ食べ物】ごま

うお座 (2/19~3/20)

【全体運】気分の浮き沈みが激しい模様。状況に応じた切り替えを意識して。リフレッシュするには芸術鑑賞がベストです

【健康運】体力増強に最適。スポーツに励んでみて
【幸運を呼ぶ食べ物】イワシ

農作業事故を未然に防ごう！

農機協では、9月から10月を「秋の農作業安全運動期間」とし、農作業事故防止を呼びかけています。この時期は、秋の収穫作業で忙しい時期となり、収穫機械による事故が多く発生します。トラクターや作業機等を動かす場合は、クラクションや周囲の人への声かけなど、基本を守り農作業安全に努めましょう。

また、夕暮れ、夜間には回転灯や低速車マークなどを取り付けて一般自動車と追突事故を未然に防ぎましょう。

窓口 研修センター ☎92-0588



JA Biei
Information

前受灯油(受付・配送)開始！

前受灯油とは??

冬期間(9月1日～翌年5月31日まで)の家庭用灯油使用金額を前納して頂く事を前提に、供給時の店頭価格から2円/ℓ引きします。

前納金額に不足が生じた場合は、追加は1回のみ可とします。

残金は5月末にて精算します。

申込みについては、北町給油所・JA貯金店舗にてお願いします。(11月末まで)

なお、クミカン引き希望の方は、登録印が必要となります。



※新規(前受灯油)の方には箱ティッシュ5箱をプレゼント!

※アロックVIP会員なら、値引きも発生します
(受付時に会員No確認)

詳しくは北町スタンドまで

窓口 ホクレン美瑛北町給油所 ☎92-2157

生産資材課からお知らせ

農薬の返品は9月12日(金)までとなっておりますので、お早めの返品をお願いいたします。

まだ使用する農薬につきましては、使用終了後の返品で構いません。

※有効期限が過ぎている物や破損・開封済み等の農薬につきましては、返品を受けることが出来ませんので、予めご了承ください。

**毒劇物の購入の際には、
必ず印鑑をご持参頂きますようお願いいたします。**

肥料木製パレットの返却のお願い

肥料の引き渡しを円滑に進める為にパレットの貸し出しをしておりますが、毎年返却が遅れ貸出枚数が増える傾向にあります。

早取時期に円滑な引き渡しを行うために、空いているパレットは早急に返却頂けるようご協力をお願いいたします。

窓口 生産資材課 ☎92-1411

早めの予約がおトクです!

JAバンク 年金お受取キャンペーン

2014.9/1(月)▶2014.12/30(火)

JAバンク
年金お受取
キャンペーンでは、

- ① これからはじまる年金のお受取をJA口座にご指定いただいた方に
- ② すでにお受取の年金をJA口座へご変更していただいた方に

相田みつをミニタオルと マグカップセットプレゼント



年金友の会で 楽しい旅行に参加しませんか

JAびえい年金友の会は、JAで年金をお受け取り頂ければ、どなたでも加入する(年会費2,400円)ことができます。年3回の親睦旅行に、助成などによる格安価格で参加でき、仲間と交流の輪が広がります。

◇手続きは簡単です

①すでにJA口座で年金を受給されている方

通帳と印鑑を持って窓口へお越し下さい。



②他金融機関で年金を受給されていても

変更手続きは簡単(JAのみの手続きで完了)

年金証書か年金振込通知書など基礎年金番号がわかるものと、JA通帳・お届け印を持参して窓口までお越し頂ければお受け取り加入手続きは完了です。なお、口座を新たに開設される場合は免許証など本人確認書類が必要です。

年金・定期貯金で 優遇金利も

年金友の会での楽しい旅行のほか、JAで年金をお受け取り頂ければ、定期貯金で預け入れ頂く場合でも、キャンペーンなど季節に関係なく、「年金定期貯金」として大変お得な優遇金利でお預かり致します。

ただし、預け入れ額には限度がありますので、金利など、詳しくは金融店舗窓口へお越し頂くか、お電話でお問い合わせください。

窓口 金融店舗 ☎92-4325

JAほっと LINE ライン

正組合員と 准組合員

JAは農業者による協同組合です。

一方で、地域の暮らしを支える幅広い事業は農業者以外の住民（准組合員）にとっても大切な組織となっています。JAの存在を定める法律を農協法と言いますが、その第1条に「農業者の協同組織の発達を促す」とする表現があります。

それぞれのJAには定款があり、当JAですと耕作面積が100㌥以上、年間の農業従事日数が150日以上など組合員の資格要件が定められ、こうした組合員が正組合員です。

また、JAでは農地を所有せず農業に従事しなくても、JAの置かれている地域に住み、信用や共済、購買事業など農業以外の事業を利用することを望む場合、定められた出資金を負担すれば組合員になることができます。こうした組合員を准組合員として正組合員と区別しています。

残念ながら農協改革の論議の中でこの准組合員のあり方についても問う声が財界から挙がっています。



美瑛産農産物を買求める人びと

美しい村マルシェに JA逸品が盛り沢山

札幌市の道庁赤レンガ前広場では、8月16日から24日までの9日間、新しい食のスポット「美しい村マルシェ」が開催され、美瑛の農産物が札幌市民や観光客に販売されました。

美しい村マルシェには「日本で最も美しい村」連合に加盟している美瑛町をはじめ、赤井川村・京極町・標津町・黒松内町・鶴居村の道内から6町村が出店。各地自慢の物産が出揃い「食とアートが会えるマルシェ」としても盛大に行われ、道行く人は人気マルシェ「美瑛」に足を止めていました。

協同の ちから



◇貯金高	223億1千万円	◇組合員数	正組合員 747人
◇貸付高	95億6千万円		准組合員 1,791人
◇出資金	11億1千万円		
◇固定資産	33億0千万円		

（平成26年7月末）

気をつけましょう

農作業 事故発生状況

8月20日現在

発生件数	3件（8件）《8件》
負傷	3人（8人）《8人》
死亡	0人（0人）《0人》

（ ）は26年累計 《 》は昨年同期累計

こよみ

9月の主な行事予定

3日（水）	水稻現地研修会
5日（金）	大豆・小豆第二期圃場審査
15日（月）	敬老の日
23日（火）	秋分の日
30日（火）	新農業人研修

編集後記

“アベノミクス”の第3本目の成長戦略の矢のひとつとして「規制改革実施計画」を基本とする農協改革。これは、農業に企業参入を促すための環境づくりであり、自由競争で市場を活性化するやり方だ。利益を優先する株式会社には、主食をはじめとする農畜産物を安全・安心でかつ安定して供給することなどできるわけがない。国民の主食は外国の手に委ねない—農業者の声も外に発したい。農協改革を求めるのは一部経済界からが発端で、国民世論が動いていないのがせめてもの救いだ。

